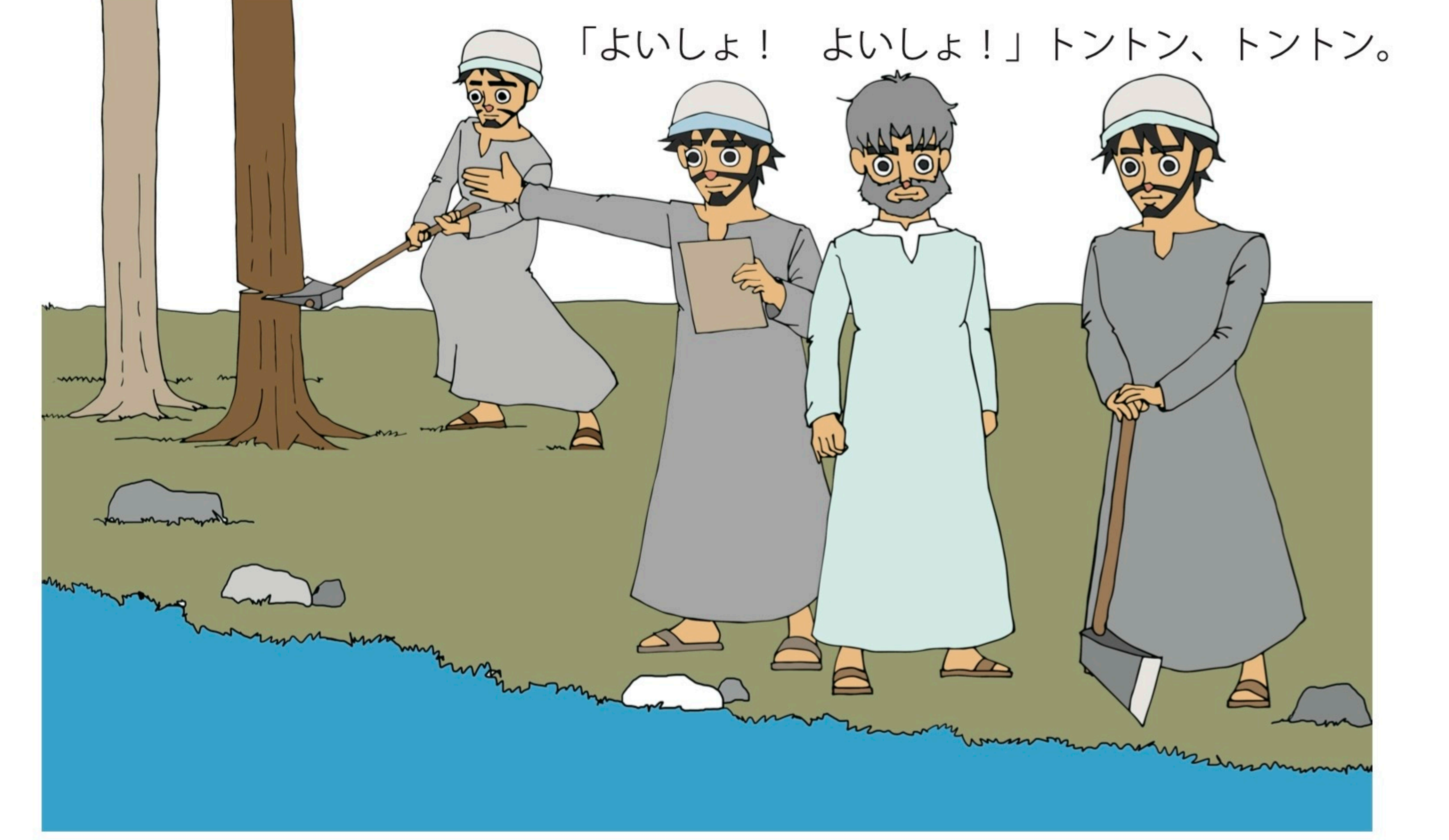


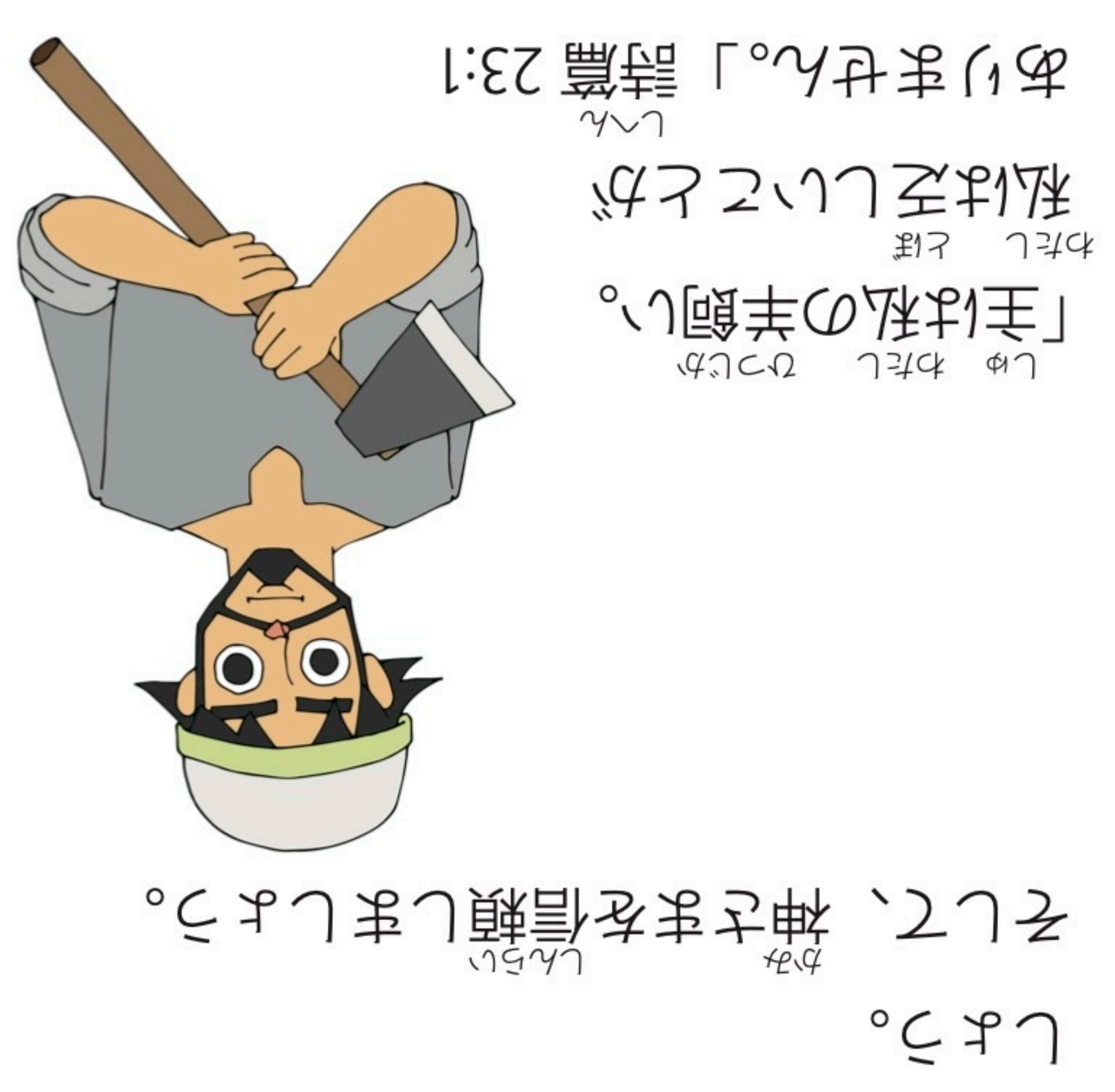


(II列王記 6:1-7)

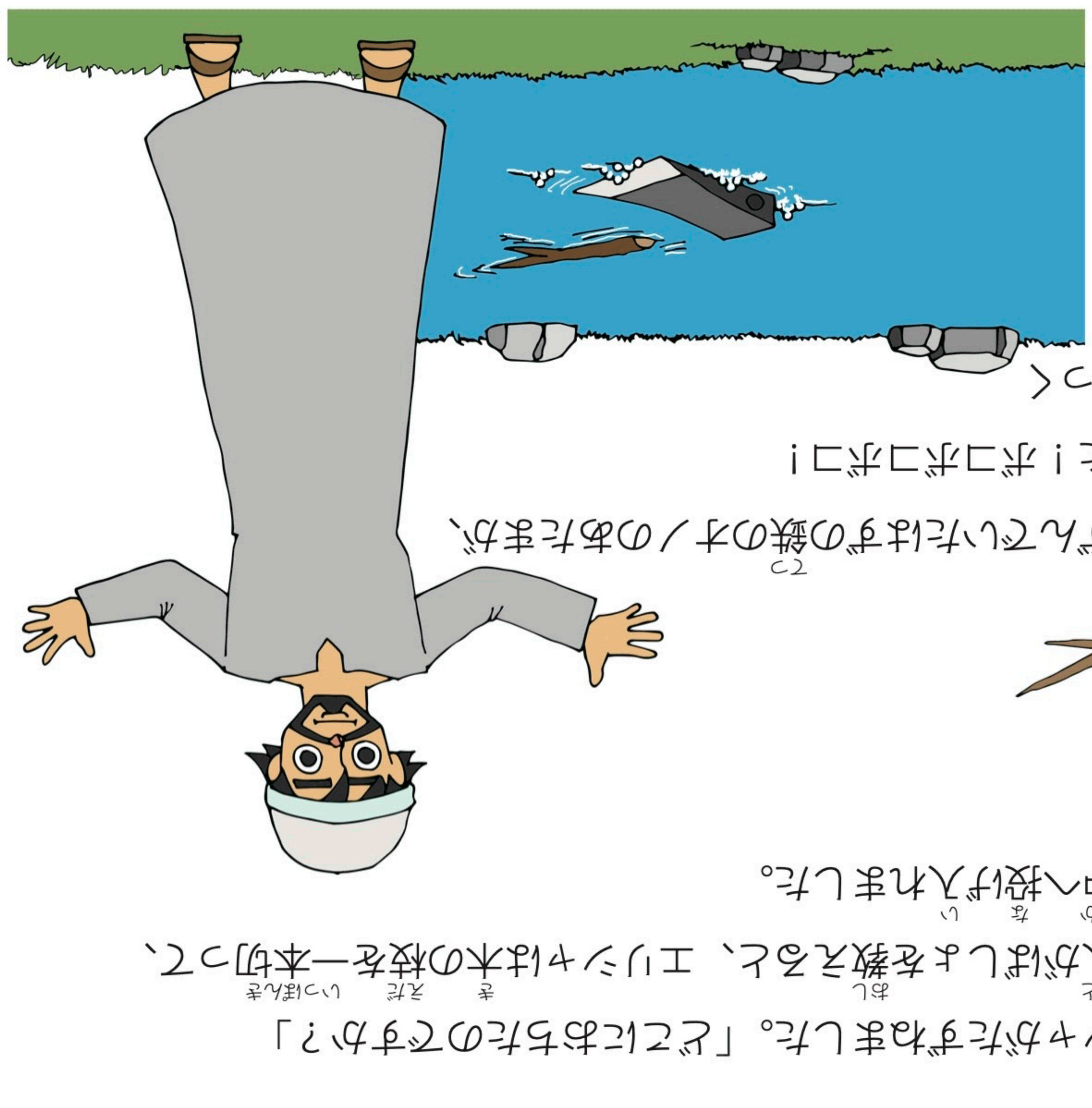
エリシャのもとで、神さまのこゝばを学ぶ人たちがたくさんいました。みんなは、
「広いところに行って、そこに家を建てましょう！」と提案しました。そしてエリ
シャをつれて、みんなでヨルダン川のそばへ行き、木を切りはじめました。



「よいしょ！ よいしょ！」トントン、トントン。



神さまは、大きなことだけでなく、私
たちの小さな困ったことも知っていて
くださいます。
困ったときには、神さまにお祈りしま
しょう。



すると、一人の人が叫びました。「あっ！」
木を切っていたオノのあたまがはずれて水の中へおちてしまったのです。
ポツチャーン！ズブズブズブ！
「ああ、大変だ！」水の中をさがしても、
見つかりません(あのオノは、かり
ものです。かえさなければなりま
せん)。「どうしよう…。」
みんなが困っていると、
エリシャがやって来ました。



エリシャがたずねました。「どこにおちたのですか？」
その人がばしよを教えると、エリシャは木の枝を一本切つて、
水の中へ投げ入れました。
「ういた！」みんなは、びっく
りしました。エリシャは、
神さまのすばらしさを
教えてくれたのです。